

●演習ワークシート

事例 1

症例：68 歳，男性

経過①

胃がんに対する腹腔鏡下幽門側胃切除術。特に術前の合併症なし。麻酔導入やこれまでの手術経過で特に異常はなし。手術開始後約 1 時間で軽度の血圧の低下あり。

安定時	心拍数	血圧
	65 回/分	110/68 mmHg

現在	心拍数	血圧
	80 回/分	98/55 mmHg

点滴は末梢静脈ラインから酢酸リンゲル液が 150mL/時で投与されている。同一ラインからの循環作動薬投与はない。15 分前に測定した血液ガス分析には異常なし。

経過②

輸液負荷にもかかわらず，血圧はさらに低下。

	心拍数	血圧
	100 回/分	80/50 mmHg

演習課題 1

経過①より，病歴・身体所見・血液検査から読みとれる所見を述べ，本症例の体液バランスはどうか検討し，適切に対応してください。

演習課題 2

経過②より，適切に対応してください。

●演習ワークシート

事例 2

症例：75 歳，女性

左膝関節人工関節置換術。糖尿病の既往あり，内服血糖降下剤内服中，術前の休薬 OK。その他には特記事項なし。全身麻酔導入に問題なし。術中の血糖測定で血糖値 80mg/dL であった。現在，輸液は乳酸リンゲル液が 150mL/時で末梢から投与中。バイタルは安定，電解質にも異常はない。

演習課題 3

事例 2 より，病歴・身体所見・血液検査から読みとれる所見を述べ，本症例の体液バランスはどうか検討し，適切に対応してください。

手順書

持続点滴中の糖質輸液，電解質輸液の投与量の調整

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】

1. 静脈ラインから水分補給を要する場合
2. 静脈ラインから糖質輸液を要する場合
3. 静脈ラインから電解質調節を要する場合

【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

- 意識状態の変化なし
- バイタルサインの変化なし
- 心不全徴候がない
- 急激な電解質異常がない
- 初回調整ではない
- 同一点滴ライン上に劇薬や毒薬類，循環作動薬がない

病状の範囲外

不安定  
緊急性あり

担当医師の携帯電話に直接連絡

病状の範囲内

安定  
緊急性なし

【診療の補助の内容】

持続点滴中の糖質輸液，電解質輸液の投与量の調整

【特定行為を行うときに確認すべき事項】

- 意識状態の変化
- バイタルサインの変化
- 自覚症状の変化
- 行動様式の変化

どれか一項目でもあれば，下記の確認をして担当医に連絡

- 呼吸苦
- 喘鳴
- 肺副雑音

担当医師の携帯電話に直接連絡

【医療の安全を確保するために医師・歯科医師との連絡が必要となった場合の連絡体制】

担当医師

【特定行為を行ったあとの医師・歯科医師に対する報告の方法】

1. 担当医師の携帯電話，PHS 等に直接連絡
2. 診療記録への記載

【病状の範囲】（補足）

急激な電解質異常とは，ナトリウム，カリウムが 10mEq/L/時以上で変動しているような場合を示す。

手順書

持続点滴中の糖質輸液，電解質輸液の投与量の調整

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】

1. ASA-PS が I または II
2. 麻酔中に静脈ラインから輸液を要する場合
3. 麻酔中に静脈ラインから糖質輸液を要する場合
4. 麻酔中に静脈ラインから電解質調節を要する場合

【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

- バイタルサインが安定している
- 心不全徴候がない
- 急激な電解質異常がない
- すでに点滴が開始されている
- 同一点滴ラインに持続の循環作動薬がない
- 血液ガス分析等で電解質・血糖値の測定ができる

病状の範囲外

不安定  
緊急性あり

麻酔科専門医の携  
帯電話に直接連絡

病状の範囲内

安定  
緊急性なし

【診療の補助の内容】

持続点滴中の糖質輸液，電解質輸液の投与量の調整

【特定行為を行うときに確認すべき事項】

- 急激な血圧の変化
- 心電図波形の変化
- 血液ガス分析等による電解質・血糖値の異常

異常・緊急性あり

麻酔科専門医の携  
帯電話に直接連絡

【医療の安全を確保するために医師・歯科医師との連絡が必要となった場合の連絡体制】

麻酔科専門医に直接連絡する

【特定行為を行ったあとの医師・歯科医師に対する報告の方法】

1. 麻酔科専門医に直接連絡する
2. 特定行為の実施を診療録に記載する

●演習ワークシート

演習日： 月 日

研修生番号：

研修生氏名：

事例 1 を確認し、解答を記載してください。

演習課題 1

経過①より、病歴・身体所見・血液検査から読みとれる所見を述べ、本症例の体液バランスはどうか検討し、適切に対応してください。

演習課題 2

経過②より、適切に対応してください。

事例 2 を確認し、解答を記載してください。

演習課題 3

事例 2 より、病歴・身体所見・血液検査から読みとれる所見を述べ、本症例の体液バランスはどうか検討し、適切に対応してください。